

EVショールームをオープン

豊橋のマルシメ 総合的モビリティ事業本格化

石油製品販売「マルシメ」は17日、豊橋市下五井町の本社前に、総合的モビリティ事業を本格化させる一環としてガレージ型EV（電気自動車）ショールームをオープンした。（原田ひとみ）

開所式で、大熊康一社長は「乗るもの、乗りかた、自由自在。脱炭素

にあわせて進む移動手段の多様化に対応し、枠組みに捉われない移動の安心安全に貢献したい。実際に見て触れて、思いを感じ取っ

ていただければ」とあいさつ。来賓の杉浦康夫副市長らとテープカットを行うと、ショールームのシャッターが開いた。



テープカットを行う大熊社長（中央）ら＝豊橋市下五井町で



ガラス張りのショールーム（同）

2面がガラス張りのショールームには、小型商用EVトラック「ELEMOK（エレモ）」とEV軽トラ「ELEMOK（ケー）」の2台を展示する。この日は、本社駐車場に1人乗りミニEVや電動キックボードなども展示。来場者は、担当者から説明を聞いた。試乗したりして熱心に見学していた。

同社は昨年、モビリティ事業部を立ち上げ、17日には車検指定工場「牧野自動車工業所」（湖西市、牧野正社長）をグループ化。あらゆるモビリティの販売、シェアリングから整備、点検、買い替えまで全サービスの展開を推進している。

問い合わせは、マルシメ電話0532（53）47111へ。